

平成25年度 年賀寄附金 「一般枠 カーボン・オフセット活動事業」 応募のご提案

※この資料は日本郵便のプレスリリース等を基に
オフセットプロバイダーである当社が独自に作成したものです

2012年10月
マイクライメイトジャパン株式会社
Mail: info@myclimate.jp
TEL: 03-6228-3616
URL: www.myclimate.jp



1.平成25年度年賀寄附金の配分団体の公募概要

- ✓ 寄附金付年賀葉書・切手を購入することで集まった寄附金を、日本郵便が配分する公募が出ております
- ✓ 日本国内で地球環境の保全を行う事業であり、その事業にカーボン・オフセット活動を含む場合、最大500万円まで申請可能です

● 申請可能事業

- ✓ **日本国内で地球環境の保全を行う事業であり、その事業にカーボン・オフセット活動を含み、またオフセット・クレジットの取得・無効化を行う事業であること**
(申請法人の定款又は寄附行為に基づいて行う地球環境の保全は地球温暖化防止やCO2削減、森林整備、そのための啓発事業、教育事業等広い範囲の活動を対象とする)
- ✓ 日本国内で実施される事業であること
(海外活動を行う団体が国内で行う啓発事業等は、国内で行われる事業として対象とする)

● 申請金額(上限): **1件当たり500万円**(排出権購入費を含む)

● 事業期間

- ✓ 配分事業は寄附金を配分することを決定した日以降に実施し、平成26年3月末日までに経費の精算(支払い)も含めて完了するもの

● 寄附金の送金時期

- ✓ 寄附金は事業の終了月の月末に団体が指定した金融機関口座宛に送金(事業開始月の月末に送金することも可能)

2. 申請可能団体と年賀寄附金配分事業の背景

- ✓ NPOなど公益性を追求する団体で年度決算書があるなどの条件に合えば応募することが可能です
- ✓ 来年で63年目の歴史のある事業です

● 配分申請可能団体(応募資格)

- ✓ **社会福祉法人、更生保護法人、公益社団法人、公益財団法人、特例社団法人、特例財団法人、特定非営利活動法人(NPO法人)**
- ✓ **申請時直近の決算時において法人登記後1年以上が経過**
- ✓ **過去1年間に欠けない年度決算書があること**

● 年賀寄附金の概要

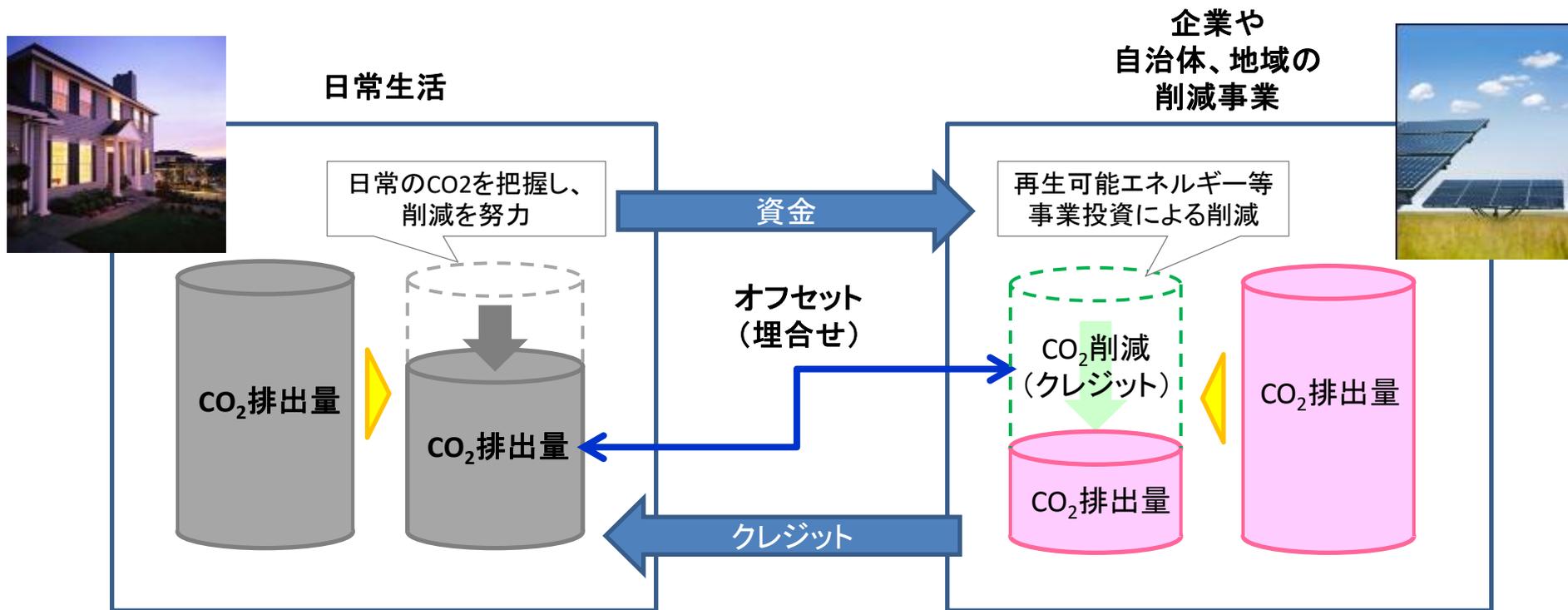
- ✓ 目的:国民の福祉の増進を図ること
- ✓ 63年目
- ✓ 規模:年間約6億円
- ✓ これまでの寄附金は合計で約478億円

● 年賀寄附金配分事業の概要

- ✓ 郵便事業株式会社が「お年玉付郵便葉書等に関する法律」(昭和24年法律第224号)に基づいて実施
- ✓ 目的:社会の発展に大きく貢献すること

(参考) カーボン・オフセットの基本的な仕組み

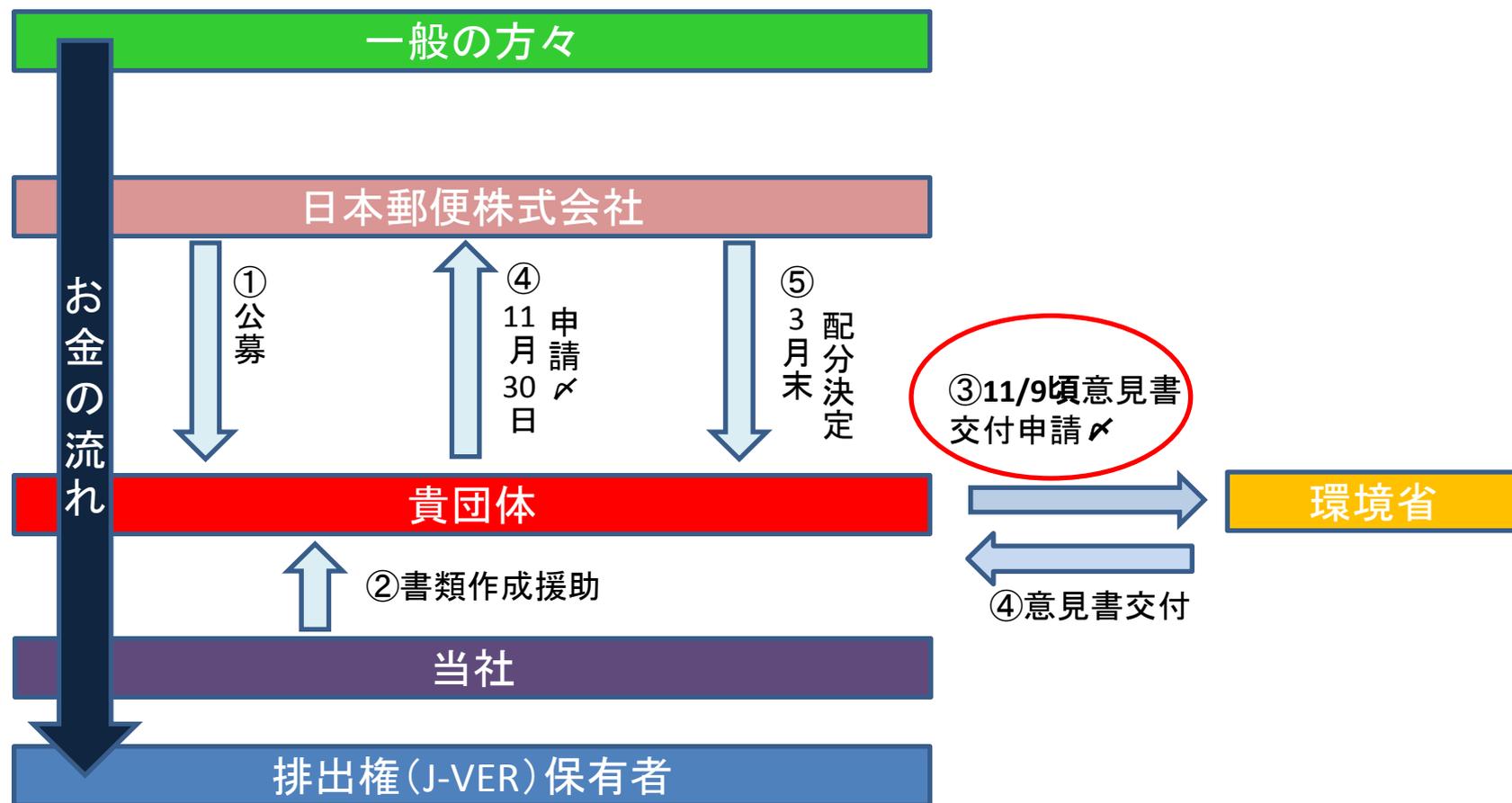
- ✓ 日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の排出について、まずできるだけ排出量が減るよう”削減努力“を行い、どうしても排出されてしまう温室効果ガスについて、排出量に見合った他の場所での排出削減・吸収量等の購入により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。



カーボン・オフセットは定量的に環境への貢献を可視化できる、新しい環境貢献の仕組みです

3. 応募の流れ

- ✓ 寄附金付年賀葉書・切手の寄附金寄附分が日本郵便を通じて配分されます
- ✓ 当社は企画やクレジットの仲介など、カーボン・オフセット実施のための援助や必要な部分については書類作成の援助を行います



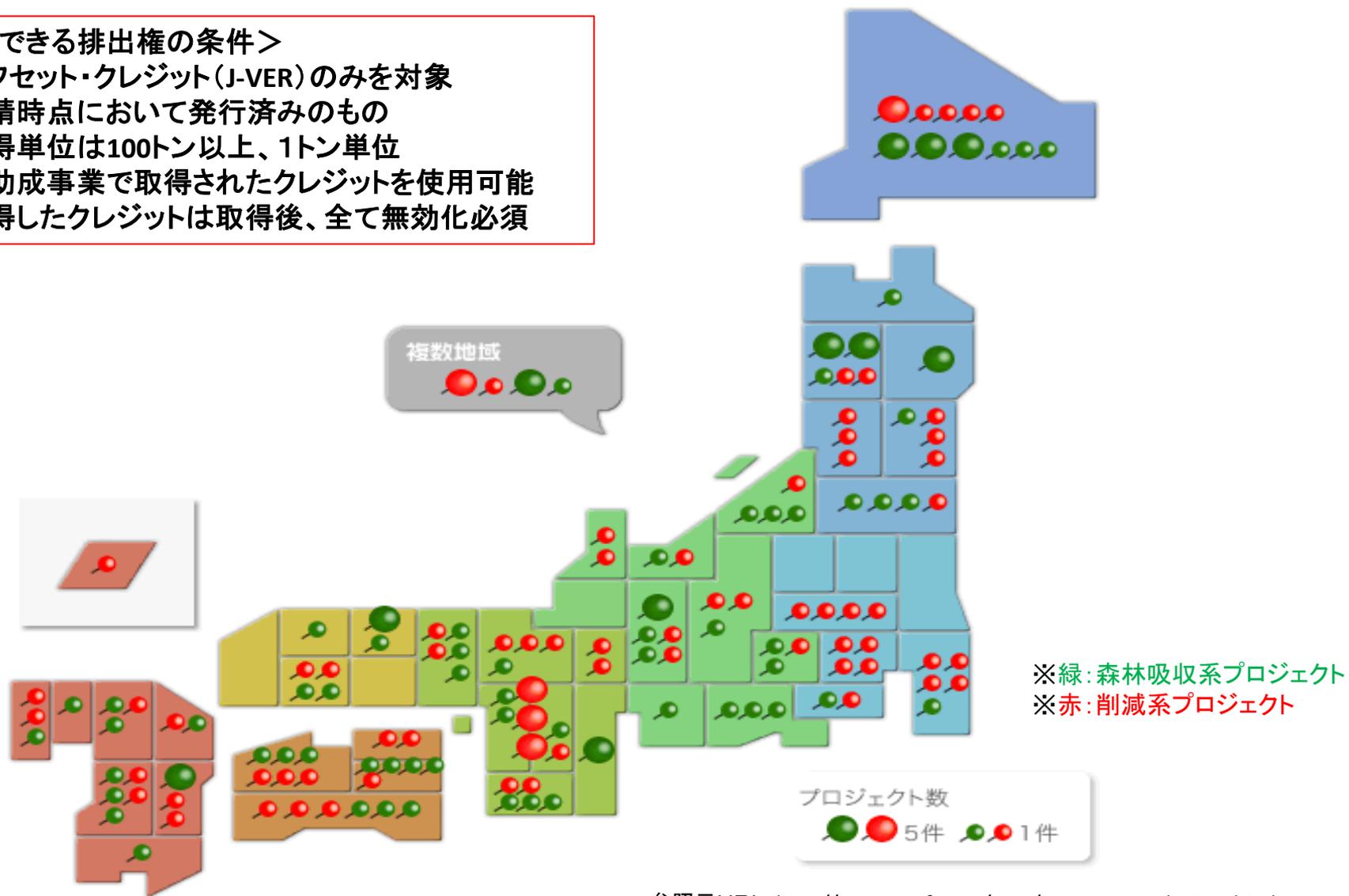
11月30日の応募締切に間に合わせるためには、**10月中には応募書類を完成**させ、11月上旬に環境省に意見書の交付申請をする必要があります

4.国内の排出権(J-VER)の一覧と条件

- ✓ 各都道府県で登録された下記のプロジェクトから発生したJ-VERクレジットが対象となります
- ✓ CO2排出削減・吸収プロジェクトから創出されたJ-VERを使用することで国内に寄附をすることができます
- ✓ 地域の特徴を生かしたクレジットもあり、貴団体事業と関連した寄附先を選択することが可能です

<活用できる排出権の条件>

- ✓ オフセット・クレジット(J-VER)のみを対象
- ✓ 申請時点において発行済みのもの
- ✓ 取得単位は100トン以上、1トン単位
- ✓ 本助成事業で取得されたクレジットを使用可能
- ✓ 取得したクレジットは取得後、全て無効化必須



5. 排出権 (J-VER) の一例

- ✓ 一例として、富士山山麓を擁するやまなし県のプロジェクトをご紹介します
- ✓ 森林吸収系その他、ペレットやバイオディーゼルなどを活用した、削減系のプロジェクトもあります



【プロジェクト名】

やまなし県有林活用温暖化対策プロジェクト

【プロジェクトの概要】

山梨県県有林において、平成19～21年の3ヶ年で実施した間伐面積約2,900haのカラマツ・ヒノキなどの人工林において、吸収・固定したCO₂吸収量について、環境省の認証運営委員会において認証を受け、クレジットとして発行

【カーボン・オフセットのストーリー】

山梨県の面積の約3分の1を占める森林の環境の保全や、生物多様性の確保に配慮した、持続可能な森林経営にJ-VERの収益が活用されます。

また、富士山の観光資源と組み合わせ、より一層の地域活性化の支援にもつながります。

FSC™の森林管理認証※による登録国内第一号でもあります。

※FSC森林管理認証とは、世界的に展開している森林の適切な管理を審査・認証する制度です



6. 配分費用内訳と応募のメリット

- ✓ 配分団体に採択されると、最大500万円までの費用が支援されます
- ✓ 費用を活用してカーボン・オフセットの仕組みを取り入れることで、様々なメリットが考えられます

●配分費用内訳(目安)

貴団体活動費※	250万円程度	左記のうち、カーボン・オフセットにあたってCO2排出量算定費用等が～50万円程度必要です(別途お見積り)
J-VERクレジット購入費	250万円程度	単価はプロジェクトによって異なりますが、1万円～2万円/t 程度のものが多いです

※貴団体活動費として、賃金、広告宣伝費、印刷製本費、通信運搬費、旅費交通費などを経費計上できます
詳細は御相談させていただきます

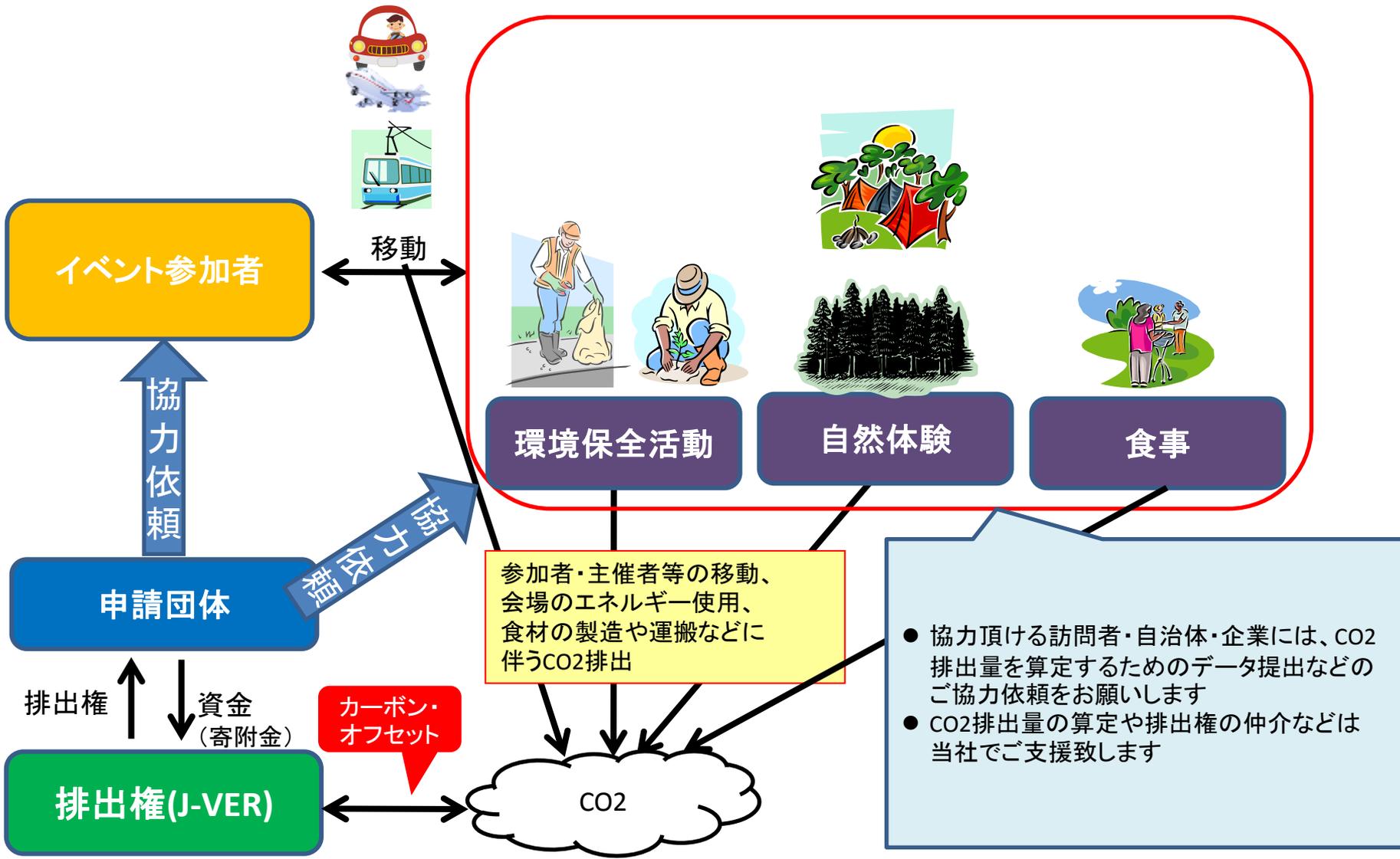
●メリット

- ✓ カーボン・オフセットという新しい環境保全の取組を実施する機会創出
- ✓ 既存のイベントなどにカーボン・オフセットを付加することによる、活動の幅の拡大
- ✓ 実施するイベントに関連する企業等との関係性強化による企画の深化
- ✓ 排出権を創出する自治体や企業との関係性の構築
- ✓ 地域の森林保全などのCO2削減プロジェクトに貢献することによるブランド強化



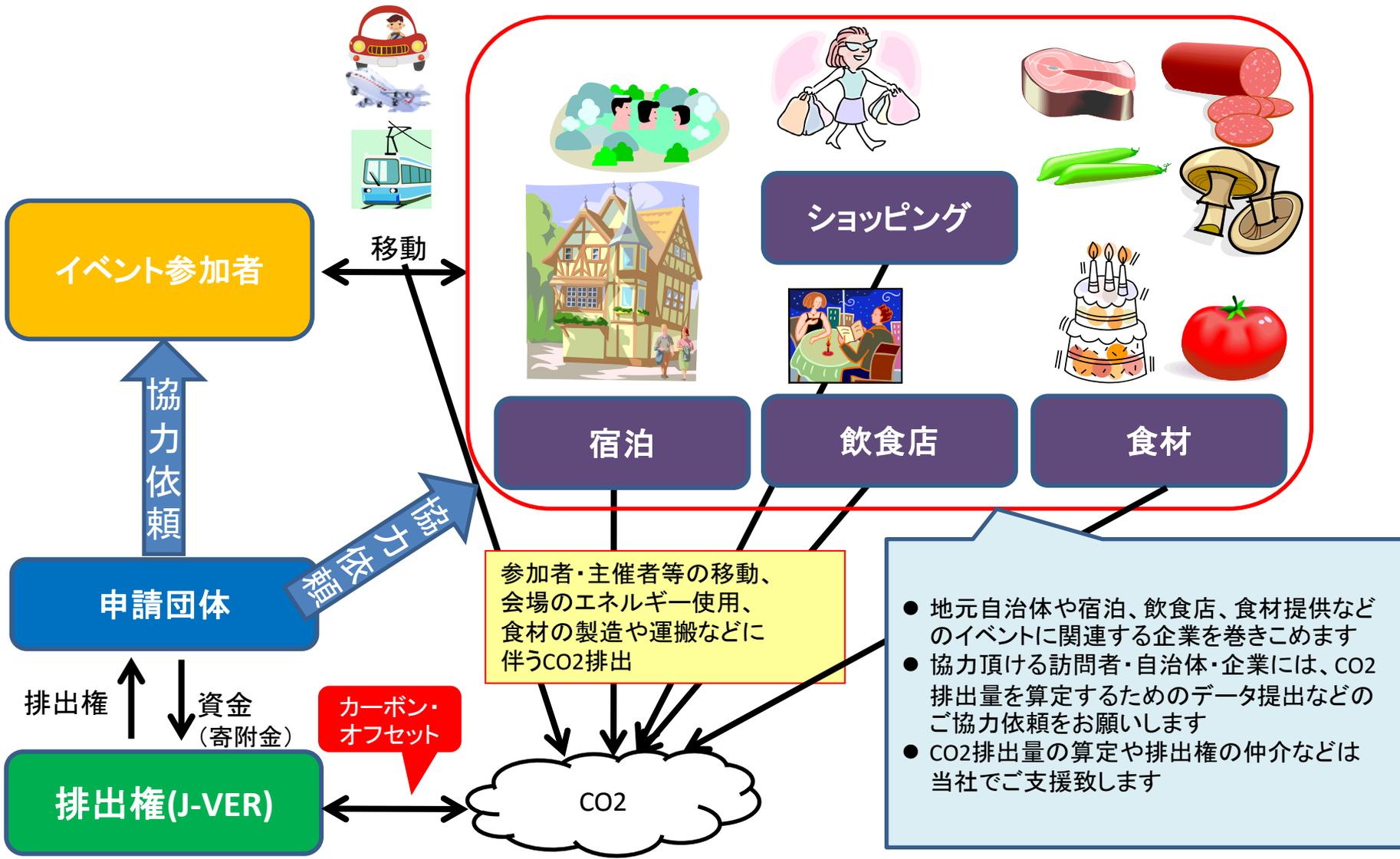
7. 活用イメージ①植林・エコツアーなどの環境保全活動の場合

- ✓ 寄附金を、申請団体が予定している既存のイベントの実行や排出権のご購入にご活用頂きます
- ✓ カーボン・オフセットを実施することで、関係企業を巻き込んで、活動の幅を広げられます



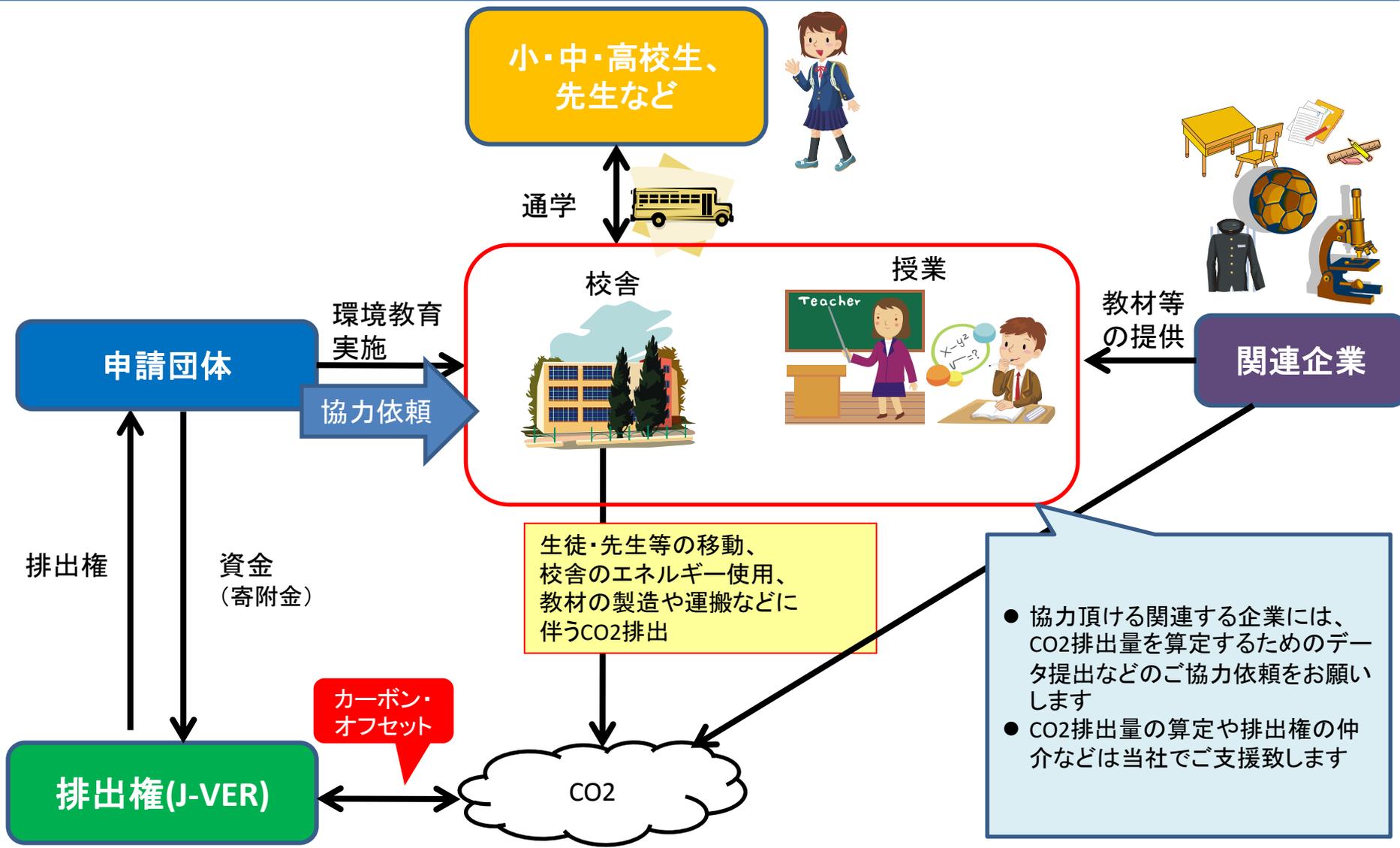
7. 活用イメージ②街コンなどの町おこし活動の場合

- ✓ 寄附金を、申請団体が予定している既存のイベントの実行や排出権のご購入にご活用頂きます
- ✓ カーボン・オフセットを実施することで企画の幅が広がり、関係企業を巻き込んで、町全体の温暖化防止活動につながられます



7. 活用イメージ③地域の小・中学生向けの教育活動の場合

- ✓ 寄附金を、申請団体が予定している既存のイベントの実行や排出権のご購入にご活用頂きます
- ✓ カーボン・オフセットを実施することで企画の幅が広がり、関係企業を巻き込んだ温暖化防止活動につながられます。

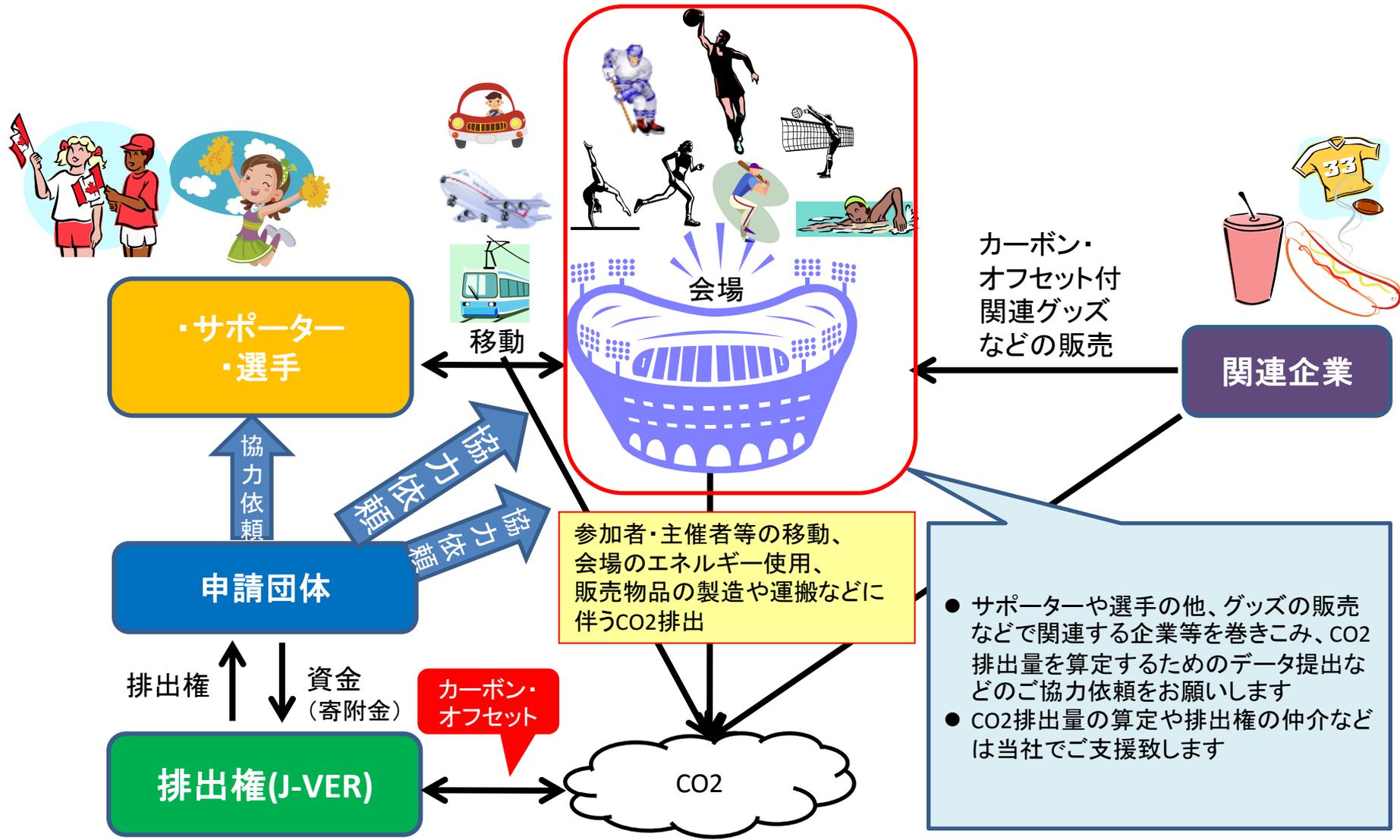


● 協力頂ける関連する企業には、CO2排出量を算定するためのデータ提出などのご協力依頼をお願いします

● CO2排出量の算定や排出権の仲介などは当社でご支援致します

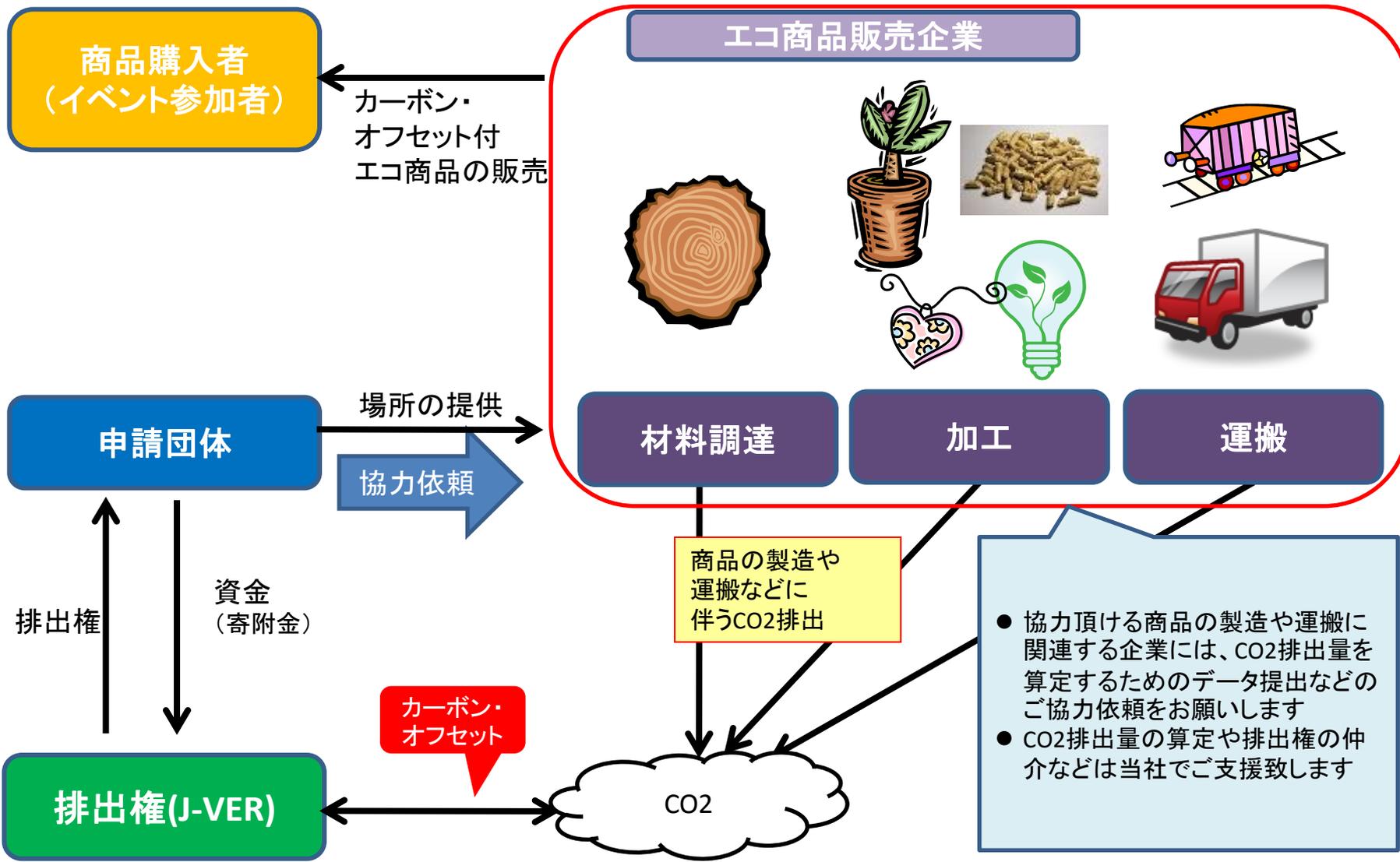
7. 活用イメージ⑤スポーツイベントなどのスポーツ振興活動の場合

- ✓ 寄附金を、申請団体が予定している既存のイベントの実行や排出権のご購入にご活用頂きます
- ✓ カーボン・オフセットを実施することで、関係企業を巻き込んで、活動の幅を広げられます



7. 活用イメージ⑥環境イベントでのエコグッズの販売活動の場合

- ✓ 寄附金を、申請団体が予定している既存のイベントの実行や排出権のご購入にご活用頂きます
- ✓ カーボン・オフセットを実施することで企画の幅が広がり、関係企業を巻き込んだ温暖化防止活動につながられます。



8. お願いしたいこと

✓ 下記の項目のご対応をお願いいたします

①貴団体の活動資金獲得と、環境保全活動の一環として、カーボン・オフセットを活用する今回のご提案についてご意見をお願いします

②日本郵便の年賀寄附金配分事業の「カーボン・オフセット活動事業」応募へのご興味の有無をお伺いさせていただきます

③応募にご興味がある場合、下記のご対応をお願いします

・企画内容のご相談

・応募書類のご準備

ア 年賀寄附金配分申請書【必須】

イ 環境省の意見書(原本)【必須】

ウ 申請する団体の定款又は寄附行為(写し)【必須】

エ 平成23年度申請団体収支決算書(写し)【必須】

オ 平成24年度申請団体収支予算書(写し)【必須】

カ 必要な見積書(写し)【必須】

キ 郵便葉書【必須】

ク 申請団体を紹介したパンフレット等(作成している場合)

ケ その他必要な補助資料(審査で必要な内容は必ず申請書に記載してください。)

※「カーボン・オフセット活動付表」については当社で記入しますので、内容のご確認をお願いします

申請書類ダウンロードURL

・年賀寄附金ホームページ(<http://www.post.japanpost.jp/kifu/>)

・郵便CSRブログ(<http://blog.post.japanpost.jp/csr/>)

(参考) 申請事業に期待する事項及び優先度合い

- ✓ 下記の審査基準により、配分団体が選定されます

(1) 申請事業に期待する事項

ア **社会的ニーズ**とその**社会的波及効果**の高い事業であること:

事業実施への社会的要請が高く、また、実施後の成果の社会への普及効果が高いこと。

イ **先駆性**の高い事業であること:

従来事業の単なる延長ではない、先駆性の高い事業であること。

新しく先駆的な事業内容であるか、あるいは事業プロセスの新規な改善であること。

ウ **事業計画が明確化**され、**実現性**が高い事業であること:

事業は具体的に計画され、1年間の事業内容として団体の事業規模に対して適切であり、事業実施のための人員配置・自己負担金・運転資金の調達が準備され、事業の成果目標が明確化され、今回の事業につながる過去の蓄積を持ち、実現の度合いの高いこと。

エ **緊急性**の高い事業であること:ここ1年間の事業年度内に実施する必要性の高い事業であること。

(2) 定量的条件の配慮

上記(1)の期待することに加えて、以下の定量的条件が優先順位に加味されます。

ア **寄附金申請額がより小さい方を優先**

助成を必要とすることができるだけ多くの団体に配分するため

イ 申請事業の事業総額に占める**自己負担金の割合が大きい方を優先**

事業の実施に向けて自己努力意識や準備の高い団体、自己負担割合が10%以上であることを期待します

ウ 団体の前年度決算における**次期繰越剰余金のより小さい方を優先**

財政状況が厳しく助成の必要性のより高い団体

(参考) 当会社概要

- ✓ 2011年11月11日、株式会社エコノスとスイスのオフセットプロバイダーmyclimateは共同出資によってカーボン・オフセット等の地球温暖化対策関連技術・サービスの提供に特化した新会社として設立されました

【株式会社エコノス(本社:札幌)】

<設立>

1964年



<事業内容>

1. リユース事業

- ブックオフコーポレーション、ハードオフコーポレーションのFCを北海道にて53店舗を展開(H23.7.1現在)。

2. カーボン・オフセット事業

- 日本のカーボン・オフセット元年である2008年から事業開始。
- 2010年7月、スイスのカーボン・オフセットプロバイダーであるmyclimateと業務提携。
- 国内におけるカーボン・オフセットクレジットの創出、カーボン・オフセットを活用したCSR/PR支援、LCA/CFPといったカーボンマネジメントサービスを提供。

【NPO法人myclimate(本社:スイス チューリッヒ)】

<設立>

2002年



<事業内容>

- スイスを基盤に、国際的に活動を展開する非営利団体で、2002年にスイス連邦工科大学(ETH)の事業からスピンアウト。
- イギリス調査会社ENDSから、世界200社のうち、もっとも質の高いクレジットを提供するtop3社のうちの1社として評価されているカーボン・オフセットプロバイダー。
- ドイツに支社をもち、欧州、カナダ、中近東、アジアに10のパートナー事業者を束ねるネットワークをもつ。
- 顧問(patronage committee member)として、スイス環境・交通・郵政大臣のDoris Leuthard、ノーベル平和賞を取ったDr. Muhammad Yunus、WWF International 元議長 Dr. Claude Martinが参加。

75%出資

25%出資



マイクライメイトジャパン株式会社

設立: 2011年11月11日

資本金: 1000万円

取締役: 4名、従業員: 8名

(参考) 当社実績

✓ 国内外の大手から中小まで、幅広い企業様にご利用頂いております

